

令和5年度 釜石市立鶉住居公民館運営結果

I 運営方針・重点目標

1. 基本方針

地域住民が公民としてのモラルや社会性を高め、積極的に社会参加や社会貢献する土壌を形成し、学ぶことを通して生きがいを見出し、自然災害に備えた防災、地域課題や生活課題の解決に向けて地域づくりを進めるための拠点として公民館を位置付ける。

また、地域住民の参画を促し学び続けることが出来るような公民館事業の実施に努め、より良い地域のコミュニティづくりに貢献する。

2. 重点目標

- (1) 地域住民が様々な自然災害について正しく理解し、防災意識を高めつつ安全安心に暮らすことができるような事業展開に努める。
- (2) 地域住民の各世代のニーズに応え、事業実施に努める。
- (3) 地域課題や生活課題の解決を図ることを目的とした事業実施に努める。
- (4) 地域住民が自発的に行うサークル活動を支援する。
- (5) 地域の各分野で活動している者が有機的に連携できる機会を創出する。

II 事業報告

1. 乳幼児を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	鶉住居子育て広場	親子が集い仲間をつくり、育児不安を解消する。	保健講話、計測（身長・体重）、おもちゃ遊び、簡単な調理、工作など 〔時期〕 ① 6/29（木）7組（歯の話） ② 8/24（木）4組（薬の話） ③ 10/19（木）4組（おやつ作り） 参加者延30名 〔場所〕 鶉住居子育て支援センター 〔対象〕 未就学児と保護者
			【成果と課題】 鶉住居子育て支援センターとの共同事業であり、母子保健推進員の協力も得て実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で中止することなく、計画通り実施することができた。参加人数は少なかったが、保護者が関心のあるテーマを選んで実施できた。おやつ作りは、保護者が共同作業で作り上げ、また親子で一緒に食べることができ、好評であった。少子化や共働き世帯の増加によって、参加できる人が少ない現状であるが、保護者が孤立することなく、集まれる場は必要である。来年度も、保護者が楽しく交流できる機会を提供していきたいと考える。

2. 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの 子育てへの支 援	わんぱく 子ども教室	交流・学び・気づきの 場を設ける。	野外体験活動「沢登り・沢遊び」 〔時期〕 8/4（金） 参加者28名 〔場所〕 陸中海岸青少年の家 〔対象〕 鶴住居小学校の1～6年生の 希望者とその保護者
			【成果と課題】小学生の夏休みを利用して実施した。鶴住居学童育成クラブと連携し参加者を募ったこともあり、多数の参加があった。子ども達は、野外での遊びの楽しさを知ることができ、保護者と一緒の参加による夏休みの楽しい思い出をつくることができた。また、野外活動によって注意力や判断力を伸ばすことができた。
	釜石東中学校 学習サポート	目標に向かって学び続 ける土壌を育むため、 受験対策を目的とする 学習機会を提供する。	〔時期〕 ①夏休み 8/1（火） 0名 8/2（水） 0名 8/3（木） 0名 8/7（月） 5名 8/8（火） 4名 ※参加者延 9名 ②冬休み 12/26（火） 4名 1/9（火） 4名 1/11（木） 3名 ※参加者延 11名 〔場所〕 釜石東中学校、鶴住居公民館 〔対象〕 釜石東中学校生徒
		【成果と課題】夏季開催においては、少人数ではあるが参加者には受験に挑む気持ちを持たせることができた。また、東中学校で行われた冬季開催では普段何らかの理由で普段から授業を受けることができていない別教室の生徒を対象に行い学習のサポートをすることができた。 （一社）子どものエンパワメントいわてに講師派遣を依頼し、普段と違う環境で勉強をすることで別の効果が見込まれることから、継続して実施したい。アンケートの結果では、学習サポート事業を通して受験への意気込みが感じられ、今後も継続が望まれる事業である。	

3. 成人期・高齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人及び高齢 者の健康づく り	各種健診等の 推進	健康教室等の事業や 公民館だよりで啓発 記事を掲載し、各種 がん検診、特定健診 等の受診勧奨や指導 を行う。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館等 〔対象〕 鶴住居地区住民
			【成果と課題】各種健診等の推進については、公民館だよりへの掲載、ポスターの掲示等で受診勧奨を行った。
	あつまれ！鶴住 居の杜	地域に安定した交流 機会をもち、閉じこ もり予防、心身の健	〔日程〕 原則毎月1回開催 ①出前講座 世界の家庭料理教室 4/27（木）18名

	<p>康と学びの機会を設ける。</p>	<p>②そば打ち体験と試食会 5/25 (木) 9名</p> <p>③鶉住居地区消防団を探る座談会 6/22 (木) 20名</p> <p>④もの忘れ相談会・認知症予防教室 7/27 (木) 17名</p> <p>⑤食事にまつわる座談会パート1 「バランスよく食べましょう」 8/31 (木) 12名</p> <p>⑥食事にまつわる座談会パート2 「糖尿病予防について学びましょう」 9/28 (木) 13名</p> <p>⑦ニュースポーツ体験会・練習会 10/26 (木) 21名</p> <p>⑧ニュースポーツ体験会・練習会 11/30 (木) 15名</p> <p>⑨お正月リース作り 12/21 (木) 21名</p> <p>⑩歯科と栄養の健康教室 1/25 (木) 17名</p> <p>⑪ランチ交流会 2/29 (水) 15名</p> <p>※参加者延178名 〔場所〕鶉住居公民館 〔対象〕鶉住居地区住民</p>
<p>【成果と課題】『あつまれ！鶉住居の杜』は、昨年度の参加延べ人数は114名であったが今年度は178名と増えてきている。理由としては、教室の周知の充実やまた参加したいと思うような内容の展開をすることにより、徐々に参加者の増加につながっている。また、新規での参加者も増えてきており健康教育、健康講話や住民同士の交流の場にもなっている。参加者の高齢化に伴い、無理のない範囲で住民にどれだけ興味を持ってもらえるような内容にするかが今後の課題となる。</p>		
<p>健康教室</p>	<p>交流・学び・気づきの場を設ける。</p>	<p>① 桑の浜健康教室 〔時期〕3ヶ月に1回開催 7/11 (火) 6名 (血糖) 9/5 (火) 5名 (コレステロール) 11/14 (火) 6名 (血圧) 2/6 (火) 5名 (骨粗鬆症) ※参加者延べ22名 〔場所〕桑の浜集会所 〔対象〕桑の浜地区民</p> <p>② 室浜健康教室 〔時期〕 *健康講話 (3ヶ月に1回開催) 7/5 (水) 4名 (血糖) 11/15 (水) 5名 (血圧) 2/7 (水) 5名 (骨粗鬆症) ※9/6 (水) は中止、 参加者延べ14名</p>

			<p>*体育協会に依頼（年3回） 10/4（水）4名（軽体操） ※12/6、3/6は中止 〔場所〕室浜集会所 〔対象〕室浜地区住民</p> <p>③女遊部健康教室 〔時期〕年1回開催 6/27（火）4名（血糖） 〔場所〕女遊部集会所 〔対象〕女遊部地区住民</p> <p>④両石健康教室 〔時期〕年2回開催 6/14（水）8名（骨粗鬆症） 2/14（水）9名（減塩） ※参加者延べ17名 〔場所〕両石復興住宅集会所 〔対象〕両石地区住民</p> <p>⑤新川原健康教室 〔時期〕4/19（水）6名（メンタルヘルス） 〔場所〕鶴住居復興住宅戸建てB地区集会所 〔対象〕新川原地区住民</p> <p>⑥ハッスル会（自主活動グループ） 〔時期〕年2回開催 3/4（月）8名（メンタルヘルス） 〔場所〕鶴住居公民館 〔対象〕自主グループメンバー</p>
<p>【成果と課題】健康教室は、公民館に来館することが難しい地区を対象に、保健師や専門職の協力を得て開催している。今年度は「糖尿病」「脂質異常症」「骨粗鬆症」に加え、昨年度と同様に「高血圧・減塩」について講話を行った。今年度開催できなかった地区については、来年度開催できるように計画する。また、一般的な話だけでなく、具体例を提示する等、自宅に持ち帰って実践できるような内容にすることが、今後の課題である。</p>			
<p>おさんぽの会</p>	<p>健康づくり・生活習慣病等の知識啓発と運動機会を通し住民交流の機会を提供する。</p>	<p>〔時期〕毎週火曜日 参加者延 180名 （R6年2月末現在） 4月/4回17名、 5月/4回28名 6月/2回 9名、 7月/3回13名 8月/4回16名、 9月/4回15名 10月/3回13名、 11月/4回21名 12月/2回12名、 1月/4回19名 2月/3回17名 〔場所〕長内集会所近辺 〔対象〕鶴住居地区住民 ※冬季間を含む10月～翌年3月まで 開始時間10：00（30分遅延） ※毎週活動実施しており隔週にて支援 自主活動の際は清掃活動を兼ねる。</p>	
<p>【成果と課題】公民館職員による事業と自主活動としての活動を組み合わせて実施。（実績は公民館職員が支援した18回と自主活動回数19回の累計数）尚、自</p>			

主活動の際は主体的に歩道清掃（ゴミ拾い）など地域社会への貢献活動（環境美化運動）に取り組んでいる、今後も自主的な活動を後方支援とする。

各種百歳体操の会

100歳体操の効果と集いの場の創出の観点から参加者主体での実施を支援する。

- ① 鶴住居復興住宅2号棟 イケイケ会
〔時期〕 毎週水・金曜日
〔場所〕 鶴住居復興住宅2号棟集会室
〔対象〕 鶴住居復興住宅2号棟の周辺住民
- ② 箱崎地区 ホップステップ
〔時期〕 毎週水曜日
〔場所〕 箱崎集会所
〔対象〕 箱崎地区住民
- ③ 片岸きらきらクラブ
〔時期〕 毎週火曜日
〔場所〕 片岸集会所
〔対象〕 片岸地区住民
- ④ いきいき鶴住居
〔時期〕 毎週火曜日
〔場所〕 鶴住居公民館
〔対象〕 鶴住居地区住民
- ⑤ 桑の実クラブ
〔時期〕 毎週金曜日
〔場所〕 桑の浜集会所
〔対象〕 桑の浜地区住民
- ⑥ ニコニコ室浜
〔時期〕 毎週月・金曜日
〔場所〕 室浜集会所
〔対象〕 室浜地区住民
- ⑦ スマイル日向
〔時期〕 毎週火曜日
〔場所〕 日向復興住宅集会所
〔対象〕 日向地区住民
- ⑧ 両石若人の会
〔時期〕 毎週土曜日
〔場所〕 県営両石アパート集会所
〔対象〕 両石地区住民
- ⑨ やまびこの会
〔時期〕 毎週火曜日
〔場所〕 外山集会所
〔対象〕 外山地区住民
- ⑩ 新川原のつどい
〔時期〕 毎週水曜日
〔場所〕 新川原集会所
〔対象者〕 新川原地区住民

【成果と課題】 新川原地区で新規に活動団体が発足した。他の団体も意欲的に活動しており、日向地区では今年度より口腔ケアの体操も開始している。新田・神ノ沢地区からも実施希望の声が上がっており、令和6年3月6日に説明会を実施し来年度から開始予定です。今後も、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携を図り、百歳体操の啓発や新たな活動団体の開拓を行っていく。

	<p>一方で、リーダーの体調変化や参加者の減少などの要因で、川目地区での活動が終了した。集まる場が無くなることで閉じこもりやフレイルにつながりかねないため、活動継続の支援に一層力を入れていきたい。また、口腔ケアや認知症予防等を取り入れながらマンネリ化の予防を図り、健康で充実した生活が送れるよう支援していきたい。</p>	
	<p>すまいる ウォーキング</p>	<p>正しい姿勢でのウォーキングで鶴住居地域、または釜石市内のウォーキングスポットを歩き、地域住民間の交流と健康維持のため、持続的な運動習慣の推奨を図る。</p> <p>〔日程〕毎月第1木曜日（雨天翌日） 4/17、本郷桜並木散策 18名 5/11、日向・大立平コース 16名 6/ 1、両石初夏の潮風コース18名 7/ 6、三鉄で行く船越半島 20名 8/ 3、小川日向ダム湖畔散策17名 9/ 7、防災ウォーキング 12名 〔防災機器管理課職員のご案内のもと、津波災害緊急避難場所を巡る〕</p> <p>10/ 5、片岸街道史跡巡り 16名 （文化振興課職員による史跡説明あり）</p> <p>11/ 2、遠野市福泉寺境内散策20名 スタンプラリー特典事業として、市バス移動、紅葉の遠野福泉寺散策、五重塔や木彫観音見学、昼食は休憩を兼ねて、遠野道の駅風の丘</p> <p>R6.1/9、新春初詣ウォーキング19名 鶴住神社ならびに麓山神社の参拝</p> <p>参加延べ人数156名、開催数9回 （R6年1月末現在） 〔場所〕鶴住居地区等 〔対象〕鶴住居地区住民等</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>一昨年、コロナ過でも可能な活動ということで始まった屋外活動事業（ウォーキング）である、既存事業おさんぽの会とは差別化を図るため一定距離を歩くこと（4～6km程度）を前提としており、事業回数を重ねるごとに参加者が増え公民館事業の中核をなす事業として地域住民に認知してもらっている。参加者の中には今事業に刺激を受け自主的にウォーキングを始めた方も複数名おられる。</p> <p>また、継続参加促進策として、スタンプラリー企画を実施した、今年度最終事業はスタンプラリー特典事業として市外観光スポットに向いてウォーキング活動をおこなった。</p> <p>事業コースについては事前に希望者を募り、複数名での下見を実施した。</p> <p>実際にコースを歩きながら道路状況等を確認しリスクを回避、安全性を担保している。今後の課題は主体的な活動ができるようリーダー格（複数名）を育成し段階を踏みつつ自主活動組織へと移行できるように取り組む。</p>	
<p>芸術文化活動の推進</p>	<p>ふるさと探訪</p>	<p>地域の自然、歴史や文化を知り、地域の資源を再認識する機会を提供する。</p> <p>かまいしの歴史を学ぼう 「鶴住居の郷土芸能」</p> <p>〔時期〕7/18（火） 参加人数11名 〔場所〕鶴住居公民館</p>

			〔対象〕 鵜住居地区住民
	【成果と課題】昨年度に比べて、参加人数は多くはなかったが、鵜住居地区の郷土芸能について全員で話し合う時間を設けることができ、鵜住居の歴史や文化を再認識することができた。課題として、今後は、事業の周知に力を入れて参加者を増やしていくことである。		
	鵜住居 交流講座	地域住民の生涯学習意欲高揚、自発的活動のきっかけを作る。	手芸や工芸などの幅広い分野の講座を開催する。ちりめん細工で「つばきの花」を作る。 〔時期〕 10/23 (月) 参加人数9名 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区住民
	【成果と課題】毎年、生涯学習の中で参加者から手芸や工芸は続けて実施してほしい。という声が多い。前回から継続の参加者もみられるなか、新規での参加者が多くみられ事業へ参加する意欲を住民へ持たせることができた。また、完成した作品は、公民館まつりの「作品展示」へ出品できた。今後も事業を継続し、住民が求めているもの取り入れた内容にする。		
	出張公民館 事業	鵜住居公民館まで足を運ぶことが難しい地域を対象に、地域住民等の交流を図る。	外山地区で、栄養講話と炊飯器を使ったおやつを紹介と試食、交流会を開催。 〔時期〕 7/26 (水) 参加人数10名 〔場所〕 外山集会所 〔対象〕 外山町内会
	【成果と課題】今年度は、外山地区で実施をした。100歳体操の後で行うことで、多くの方に参加していただき、よりいっそう住民同士の交流を深めることができた。来年度は、公民館事業への参加が少ない地域での開催を検討する。		
男女共同参画 の推進	男の手料理教室	男性の交流機会の一つとしながら、健康づくりや食生活の改善を進めることを目的とする。	交流する機会の提供および食生活を見直し栄養や健康に関する知識の啓発を行う。 〔日程〕 4/5 (水) 7名 (カレー) 5/10 (水) 7名 (パスタ) 6/7 (水) 5名 (炒飯、麻婆豆腐) 7/5 (水) 6名 (流しそうめん) 8/2 (水) 6名 (キーマカレー) 9/6 (水) 5名 (天津飯、餃子) 10/4 (水) 7名 (親子丼) 11/1 (水) 6名 (焼きそば) 12/6 (水) 6名 (うのとり鍋) 1/12 (水) 7名 (みずき団子) 3/6 (水) 6名 (唐揚げ) ※2/7 (水) 確定申告と重なったため中止。 ※参加者延べ68名 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区の男性
	【成果と課題】献立は、参加者からの希望をもとに、栄養士がアレンジを加えて、カロリーや塩分を抑え、健康にも配慮したものになっている。		

	<p>1月はおーい！むかしっ子教室と合同で実施し、昨年と同様、みずき団子ときらす団子作り、小学生との交流を行った。7月は職業見学の中学生との交流の機会があり、また、11月の公民館まつりでは、おふるまいのおにぎり作り・配布を行った。実施前の不安や当日の疲労感は聞かれたが、おにぎりは大好評で、達成感も窺えた。今後も機会があれば、参加者が活躍できる場を提供していく。日程について、公民館日より発行日（毎月1日）の関係で、周知が間に合わない時もあった。来年度の日程については、参加者の意見を聞き、検討する予定。</p>	
高齢者の生きがいがづくり	実年ひろば	<p>趣味などによる生きがいがづくりにつながる生涯学習活動を取り入れ、住民同士の交流や生涯学習意欲の向上を目的とする。</p> <p>簡単な英語で体操をし海外のおやつを通して海外の文化に触れる。 〔時期〕 9/1（金） 出前講座「お茶っこサロン～やさしい英語で体操しよう～」 13名 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の女性</p>
	<p>【成果と課題】 普段接することのない海外の体操や、文化にふれることができた。また、事業をとおして参加者同士の交流ができた。今後は、内容が重なる部分もあるため「あつまれ！鶴住居の杜」と統合を検討していく。</p>	
	鶴住居管内 ニュースポーツ 交流会	<p>鶴住居管内において公民館事業等での取り組みにより、ニュースポーツ人口が増えていることから、ボッチャやスカットボールなどニュースポーツを通じた管内地域住民による横断型交流機会の創出を図る。</p> <p>年末恒例の市内公民館対抗ニュースポーツ交流大会に向けて選手選考会の側面もあり。</p> <p>※ニュースポーツ種目 ボッチャ・スカットボール・輪投げ</p> <p>〔時期〕 11月22日（水）21名 〔場所〕 鶴住居公民館多目的ホール 〔対象〕 鶴住居管内地域住民</p>
<p>【成果と課題】 今事業にあたり、公民館事業あつまれ！鶴住居の杜において複数回とコミュニティ支援員事業（半島部含む）では従来よりニュースポーツなどを含むレク活動に取り組みボッチャ、スカットボールなどの体験会を実施、ニュースポーツ人口の増加を担ってきた。</p> <p>今年度新規の事業として、ニュースポーツを通じた、地域住民（高齢者等）の生きがいがづくりの機会と場を提供。</p> <p>なお、今事業の10日後、12月2日釜石市体育館において開催された釜石市内公民館対抗ニュースポーツ交流大会では鶴住居公民館が優勝。</p> <p>〔種目〕 室内グラウンドゴルフ、スカットボール、ボッチャ、輪投げ 計 4種目 特にボッチャに関しては、鶴住居公民館チーム（市内最高齢チーム3名編成）が優勝、他種目に関しても上位に食い込み、総合優勝を飾った。</p> <p>今年度、初の試みではあったが、時期的に半島部漁家世帯は繁忙期となるため、開催当日が鮑漁と被ってしまい参加できない方が多かった。 次年度については開催時期を考慮し、日程を検討とする。</p>		

4. 地域や世代を超えた取り組み

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
芸術文化の推進	うのすまい 公民館まつり	公民館利用団体の発表の場とし、鶴住居地域住民の生涯学習意欲向上を目的とする。	ステージ発表、作品展示、物販、お振舞い、公民館の取り組み発表などを実施。 〔時期〕 11/18（土） 作品展示は、11/24（金）まで 参加延人数300名 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民ほか
	【成果と課題】新型コロナウイルス感染拡大以前に行われていた「公民館まつり」を再開させることが出来た。スローガンを「ふれあおう！つながろう！ひろがれ！みんなの鶴住居公民館」とし、ステージ発表、作品展示、物販、お振舞い、公民館の取り組み発表を実施することが出来た。また、普段から、公民館事業へ参加できていなかった住民に対して、参加を促す機会となった。約300人と多くの方に来場していただき大盛況だった。来年度以降も実施の予定。		
交流の場の創出	市内公民館交流事業	地区の規模、自然環境や風習が違う他地区の住民と交流することで、様々な体験や気づきを得ることにより、自分の住む地域を再認識し、郷土愛の醸成や地域の活性化を図る。	栗橋地区の住民とわらび狩り体験、すまいるウォーキングとの共催で、唐丹地区住民とのウォーキングを実施。参加した両地区住民との交流・親睦を深めた。 ◎栗橋地区 〔内容〕 和山高原において、わらび狩り体験を行った。 〔時期〕 5/15（月） 参加人数13名 （内訳：鶴住居13名、栗橋0名） ※栗橋地区の参加者は、雨天により 所長以外は当日キャンセル 〔場所〕 橋野町和山高原 〔対象〕 鶴住居地区住民 栗橋地区住民 ◎唐丹地区 〔内容〕 唐丹地区住民が鶴住居を訪れ、初夏の鶴住居を共にウォーキングした。 〔時期〕 6/19（月） 参加人数25名 （内訳：鶴住居12名、唐丹13名） 〔場所〕 鶴住居町内 〔対象〕 鶴住居地区住民 唐丹地区住民
			【成果と課題】計画どおり2回開催。 栗橋地区は本地区と同ブロックであることから、来年度も栗橋公民館との交流を主として、協議のうえメニューを決定する。また、唐丹地区とは2年続けたの交流となったことから、来年度はほかの公民館との交流事業を開催したい。

	<p>鵜住居 地域交流会</p>	<p>新たな地域に定着した事業を目指し、幅広い年齢層を対象として交流を図る。</p>	<p>鵜住居小学生と地域住民がニュースポーツで世代間交流を行う。 〔時期〕2/1（木） 鵜住居小学校1年生 26名 2年生 18名 教員等 4名 鵜住居地区住民 13名 ※ポッチャ交流会参加人数 61名 〔場所〕鵜住居公民館 〔対象〕鵜住居小学生 鵜住居地区住民</p>
<p>【成果と課題】昨年に引き続き、小学生と地域住民の世代間交流を促進するために行った。ポッチャを実施したが、地域住民も小学生も積極的に交流に参加し終始笑顔があふれる会となった。今後も継続して交流の機会を持つことが望まれ、実施内容や時期などは早めに学校と調整を密にすることが大事である。来年度も引き続き、交流会開催を検討していく。</p>			
	<p>おーい！むかしっ子教室</p>	<p>地域に受け継がれてきた食文化や風習を次世代の子ども達に継承・伝承するとともに世代間の交流を図る。</p>	<p>小正月の伝統行事として「みすき団子作り」を行う。調理時間を利用して漁火の会による昔話を聞く会を行った。 〔時期〕1/12（金） 鵜住居学童育成クラブ（1～3年） 16名 鵜住居地域住民 15名 鵜住居男の手料理教室メンバー 7名 岩手県食の匠 1名 〔場所〕鵜住居公民館 〔対象〕鵜住居学童育成クラブ 鵜住居地域住民</p>
<p>【成果と課題】昨年度に引続き2回目の事業。小正月の伝統行事として「みすき団子づくり」を子ども達と地域住民とで行い地域に受け継がれてきた食文化や風習を伝承することができた。鵜住居地区の男の手料理教室との共催で行うこと、また、お楽しみ会として漁火の会の語り部に昔話を披露してもらい、世代間の交流を図ることができた。 今後も継続して実施することが望まれ、実施内容や時期などは早めに関係機関と調整を密にすることが大事である。来年度も感染対策を行った上で開催を検討していく。</p>			
<p>防災や生活環境に関する学習</p>	<p>鵜住居防災学習</p>	<p>自然災害を正しく理解し、防災意識を高め自身の命を守る。</p>	<p>上期は、すまいるウォーキングとの共催により「防災ウォーキング」を実施し、現在の津波災害緊急避難場所の確認を行った。（新規指定避難場所含む） 下期は、地区内町内会を対象として鵜住居地域会議との共催により防災学習講座を開催予定で進めていたが、講師をお願いする防災危機管理課との調整がうまくいかず、残念ながら中止となった。 ◎防災ウォーキング 〔時期〕</p>

			<p>9/7 (木) 参加人数12名 〔場所〕 鶴住居町内 〔対象〕 鶴住居地区住民 〔講師〕 市防災危機管理課職員 ◎防災学習講座 〔時期〕 中止 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区町内会</p>
<p>【成果と課題】 上期は、すまいるウォーキングとの共催で防災ウォーキングとして実施した。ウォーキングコースを鶴住居町内の津波災害緊急避難場所を巡るコースとして、防災危機管理課職員から要所所で説明を受けながらコースを巡り、津波避難の大切さを再確認するとともに、津波避難の意識付けが図られた。 下期は、市防災危機管理課を講師に、災害時の車避難と自主防災組織の役割についてをテーマに防災学習講座を開催予定で、防災危機管理課と調整していたが、内容と時期の調整が付かず残念ながら中止とした。 防災学習は同じ内容のものを繰り返し行うと事業自体が先細りしていくので、防災危機管理課の職員と相談しながらメニューを検討する。</p>			

5. 学びの場を充実するための事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
社会教育施設等の充実	施設の貸館	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	午前9時から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館施設を住民に貸し出す。 〔時期〕 通年（年末年始は休み） 〔対象〕 生涯学習活動が目的の団体・個人等

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館の運営について審議会委員が審議する。	〔時期〕 5/22 (月)、3/15 (金) 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 公民館運営審議委員
	サークル代表者会議	自主サークル間の公民館利用日の調整を図るとともに、サークルの事業内容を理解する。また、公民館まつりの実施について調整する。	〔時期〕 6/1 (木) 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 自主活動サークル代表者
生涯学習ネットワークの形成	公民館だより「うのとりの」の発行	公民館事業等の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や生活応援センターの情報を提供する。	広報の発行に併せて地域内全戸に配付する。（今年度4月度より発行日を毎月15日より1日に変更） 〔時期〕 毎月1回1日発行 〔対象〕 鶴住居地区住民

	自主サークル 活動支援	活動を支援するとともに、公民館だより等を活用し自主サークルの活動を紹介し新たな参加者の拡大を促す。	前年度に比べ登録団体が2団体増えた。 登録団体：16団体 〔活動時期・内容・活動場所〕 別紙のとおり
	鵜住居地域会議との連携	鵜住居地域の状況に応じて、各種の地域団体と連携しまちづくりを進める。	鵜住居地域会議との連携により釜石東中学校学習サポートとして、受験対策を目的とする学習機会を提供する。 〔時期〕 ①夏休み 8/1（火） 0名 8/2（水） 0名 8/3（木） 0名 8/7（月） 5名 8/8（火） 4名 ※参加者延 9名 ②冬休み 12/26（火） 4名 1/9（火） 4名 1/11（木） 3名 ※参加者延 11名 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地域会議
	【成果と課題】「釜石東中学校学習サポート」事業で鵜住居地域会議と連携して取り組んだ。子どもたちの育成という面で、今後も継続が望まれる事業であることから、よりよいものとなるよう、学校、講師の先生と協議し内容のブラッシュアップを図りながら継続したい。		
	ボランティア 団体等の受入	関係団体と連携し、各種のボランティア団体を受け入れ、地域を支援する。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区住民
	【成果と課題】今年度は音楽の力によるコンサートへの共催のほか、中川あい子民謡舞踊公演実行委員会が開催した「心の復興支援！出前民謡公演」及び釜石まちづくり株式会社が開催した「三遊亭楽大の爆笑落語会」への協力、埼玉モダンダンスサークル復興支援事業「ネバーギブアップ」への共催により事業を開催した。コロナウイルス感染症の5類移行により、ボランティア団体等の活動が活発化することに伴い、受け入れも増えてくるものと思われることから、相談や依頼に応じて随時検討する。		

7. コミュニティ支援員自主開催事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
被災地を取り巻く地域住民の交流機会創出と地域コミュニティ維持	復興住宅 ひまわり会	被災者間の交流機会の創出、復興住宅世帯と地域（再建・既存）住民との交流促進並びに高齢者等の介護予防的なサロン運営開催。	〔日程〕 毎月第2（木）、第4（金） 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 復興住宅（集合・戸建）、再建世帯、既存世帯を含めた鵜住居地区住民 〔開催回数〕 22回 参加延べ人数（R6年1月末現在） 259名

	<p>復興住宅 プランター 菜園野菜作り</p>	<p>復興住宅世帯（集合）に於、プランターを活用し野菜作りや花を育て愛でる環境づくりを促進、育成から収穫までのスパンで事業を展開することでものづくり（野菜等）の機会を提供することで交流の場を構築とする。</p>	<p>〔日程〕 春季～秋季迄不定期開催 月1回程度 〔場所〕 鶴住居復興住宅1号棟 花壇付近プランター設置箇所 〔対象〕 復興住宅世帯 〔開催回数〕 5回 参加延べ人数（R6年1月末現在） 15名</p>
	<p>仮宿 ひだまり会</p>	<p>半島部限界集落、地域での交流活動が皆無であることから介護予防的な交流サロンを開催しコミュニティの維持を図るもの。</p>	<p>〔日程〕 毎月第2（木）、第4（木） 〔場所〕 仮宿分館 〔対象〕 仮宿地区住民 〔開催回数〕 11回 参加延べ人数（R6年1月末現在） 40名</p>
	<p>鶴住居健康 ラジオ体操</p>	<p>鶴住居復興住宅世帯や近郊世帯において高齢者等へ定期的に体を動かす機会をつくり運動の習慣化を図ることで、地域住民の健康づくりの一助とする。 また、とじこもり予防や住民間の交流につなげる。</p>	<p>〔日程〕 R5年4月より12月まで 毎日実施（土日・祝日等休） 9：00～9：15 〔ラジオ体操第1・第2〕 〔場所〕 鶴住居公民館駐車場付近 〔対象〕 復興住宅、近郊世帯地域住民 参加延べ人数（R6年1月末現在） 1,347名</p>
	<p>白浜 すいすい会</p>	<p>地域住民、特に高齢者のコミュニティ維持と健康促進のため、軽運動や脳トレ体操による介護予防教室サロンの開催を目的とする。</p>	<p>〔日程〕 毎月第1（水）、第3（水） 〔場所〕 白浜集会所 〔対象〕 白浜地区住民 〔開催回数〕 13回 参加延べ人数（R6年1月末現在） 48名</p>
	<p>【成果と課題】 現状、被災者と既存世帯との地域交流に特化した事業形態を模索しながら遂行できているが、今後、継続が懸念される半島部での地域交流サロンについて活性化（新規参加者を募る）の為、アプローチを図るとともに近郊地区の事業統廃合も念頭に開催頻度を下げることにはなるが、高齢者の居場所づくりと交流機会の提供、体力維持、脳トレ体操などの介護予防サロンに取り組む。</p>		

8. 事業評価

① 事業評価と今後の課題

② 評価の手法

公民館主催事業・共催事業（保健事業）については、運営計画の目標を基準に以下の項目で評価する。

目標番号	評価項目	評価指標①	評価指標②	評価指標③
①	普及・啓発	講座開催数	参加者数	—
②				世代別の講座数
③				地域会議共催活動
④	団体の活性化	登録サークル数	活動参加者数	—
⑤	他団体との連携	連携団体数	連携した事業	—

③ 各評価項目の達成比率

評価基準	令和4年実績	令和5年実績	増減率
講座開催数(主催分)	55回	77回	40%増
参加者数(人数/1回)	12.9人	12.3人	5%減
子ども世代の講座数	6回	12回	100%
大人世代の講座数	49回	65回	33%増
地域会議共催活動	6回	8回	33%増
登録サークル数	14団体	16団体	14%増
活動参加者数(人数/1回)	15人	10人	33%減
連携団体数	8団体	12団体	50%増
連携事業数	11事業	10事業	9%減

《変動の要因》

①講座開催数について

- ・昨年度計画したとおり実行できた。

②参加者数について

- ・参加者数の取り方は、「鶴住居子育て広場」、「わんぱく子ども教室」、「釜石東中学校学習サポート」「あつまれ！鶴住居の杜」、「すまいるウォーキング」、「出張公民館」、「お〜い！むかしっ子教室」、「ふるさと探訪」、「鶴住居交流講座」、「実年ひろば」、「男の手料理教室」「市内公民館交流事業」、「鶴住居地域交流会」、「鶴住居防災学習」「健康教室」の平均値で算出している。

③地域会議活動について

例年共催している「釜石東中学校学習サポート」に協力を得て実施。（回数を日数として算出）

④登録サークル数について

- ・今年度新しく『釜石民謡保存会』『鶴住居スポーツ少年団空手道』が登録したことによる増加が要

因。

⑤連携団体、連携事業数について（主な連携先）

- 「鶺鴒住居子育てひろば」…鶺鴒住居子育て支援センター
- 「わんぱく子ども教室事業」…鶺鴒住居小学校、鶺鴒住居学童育成クラブ
- 「釜石東中学校学習支援サポート」…釜石東中学校、（一社）子どものエンパワメントいわて
- 「各種健康教室」…釜石市体育協会
- 「男の手料理教室」…明治安田生命
- 「あつまれ！鶺鴒住居の杜」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、明治安田生命
社会福祉法人岩手徳栄会（三峯の杜）、漁火の会
- 「鶺鴒住居地域交流会」…鶺鴒住居小学校、社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
- 出張公民館…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
- お〜いむかしっ子教室…鶺鴒住居阿小学校、鶺鴒住居学童育成クラブ
社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、漁火の会
- 鶺鴒住居交流講座…ニコー商会